

得がたい人脈の獲得とキャリアチェンジの契機に



国際社会科学府研究科 博士課程前期
経営学専攻 マネジメント専修コース※
2009年修了 ※修了当時

高橋 省吾 さん

三菱電機株式会社 知的財産センター（当時）
鹿児島大学
産学官連携推進センター教授（現在）

Q1 入学の動機を教えてください

私は技術者の出身でしたが、当時は知的財産の専門家（弁理士）として総合電機メーカーに勤務していました。しかし、次第に知財が経営戦略として織り込まれるようになり、会社の知財戦略を構築する上で経営全体の知識が必要であると痛感したことが当初の動機です。

また、自身のスキル形成として、いわゆるT字型人間の横棒の部分を広げたいという思いもありましたので、独学ではなく、大学院に通学して本格的に勉強をすることを決意しました。

Q2 研究内容について

研究テーマは、「技術情報の粘着性と企業の業績の関連についての研究」です。その内容は、企業間における技術情報の移動のし易さを「技術情報粘着性」として定義し、特許データからその数値を定量化することを試みるというものです。実務家としての知的財産の知識・経験と YBS で習得した経営学の知識の双方を活かせることから、このようなテーマを選びました。

Q3 在学中の仕事等との両立をいかに行いましたか

YBS の先生方には、社会人学生が勤務時間外に通える時間帯（定時後および休日）に、講義、ゼミなどを開催していただいたおかげで、会社への負の影響は一切なく、無事修了することができました。特に、夏休み期間中の、朝から晩までの集中講義と合宿によるゼミは、ハードながら充実しており、今でも印象に残っています。

Q4 YBS での「学び」が業務にどう活かされていますか

YBS に通うことにより、知識の幅が広がり、実務能力（提案力・分析力等）を向上させることができました。また、学生間の交流が密で、前後の年度の学生とも情報交換できた点が、広く他業界の状況や企業文化を知る上で効果的でした。

また、YBS 修了後に同大学院の博士課程後期に進学し、大学教員に転身する契機にもなりました。

Q5 YBS を志望する人へのメッセージ

MBA を取得しても、その資格により急にキャリアアップしたり、年収が増加したりすることは、少なくとも日本の伝統的企業では期待できないと思います。

ただ、通常ではありえない異分野の方々との人脈が形成できたり、キャリアチェンジの契機になったりと、何らかの変化が起こることは間違いないと思います。運命を能動的に変えてみようと思われる方は、是非 YBS で学ばれてはいかがでしょうか。

